

(平成29年刊行)

ひらね119

(消防年報 概要版)



枚方寝屋川消防組合



火の用心 ことばを形に 習慣に

【平成29年度全国統一防火標語】

「ひらね119」は、火災、救急、救助の活動をはじめとする消防の仕事を市民の皆さんにご理解いただくために、消防年報のダイジェスト版として編集したものです。本書が消防行政をご理解いただく一助になれば幸いです。

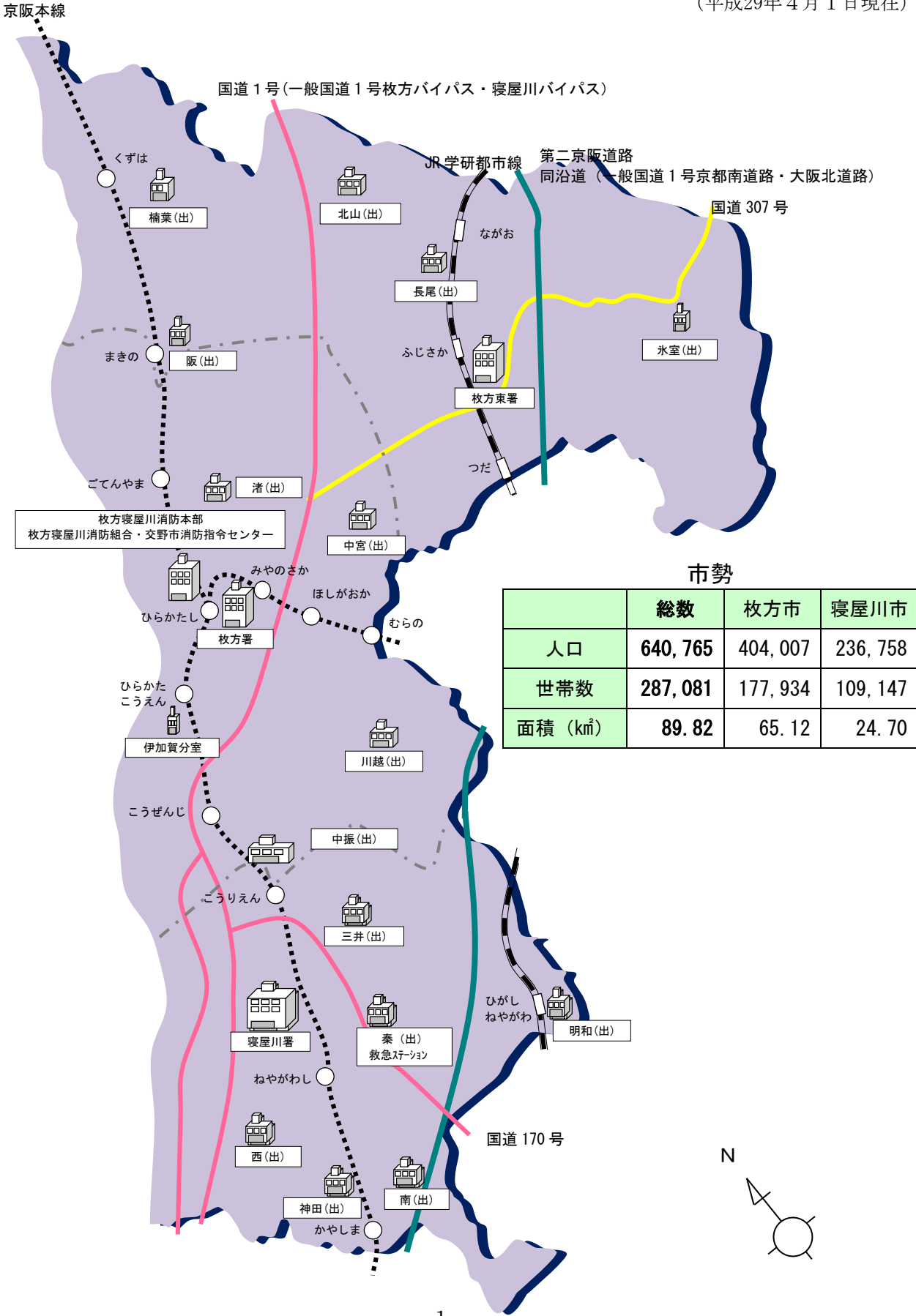
※なお、日付のないデータは、平成28年12月31日現在のものです。

目 次

1	管内図及び市勢	1	12	警 備	13
2	組 織	2	(1)	消防隊の活動状況	
3	消防歳出予算	3	(2)	消防水利	
4	消防庁舎	4	13	火災概況	15
5	平成28年中の主な活動記録	5	(1)	火災概況	
6	消防職員	6	(2)	月別火災件数	
7	消防車両	7	(3)	死傷者・損害状況	
8	防火対象物	8	(4)	過去10年間の火災発生状況	
(1)	防火対象物		(5)	出火原因	
(2)	消防同意		14	救 急	18
(3)	住宅防火診断		(1)	救急概況	
9	危険物	10	(2)	救急搬送状況	
10	査 察	11	(3)	救命率の向上	
11	119番等通報	12	(4)	「救急安心センターおおさか」	
(1)	119番等通報受信状況		15	救 助	20
(2)	緊急通報システム		16	消防団の概況	21

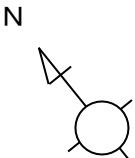
1 管内図及び市勢

(平成29年4月1日現在)



市勢

	総数	枚方市	寝屋川市
人口	640,765	404,007	236,758
世帯数	287,081	177,934	109,147
面積 (km ²)	89.82	65.12	24.70

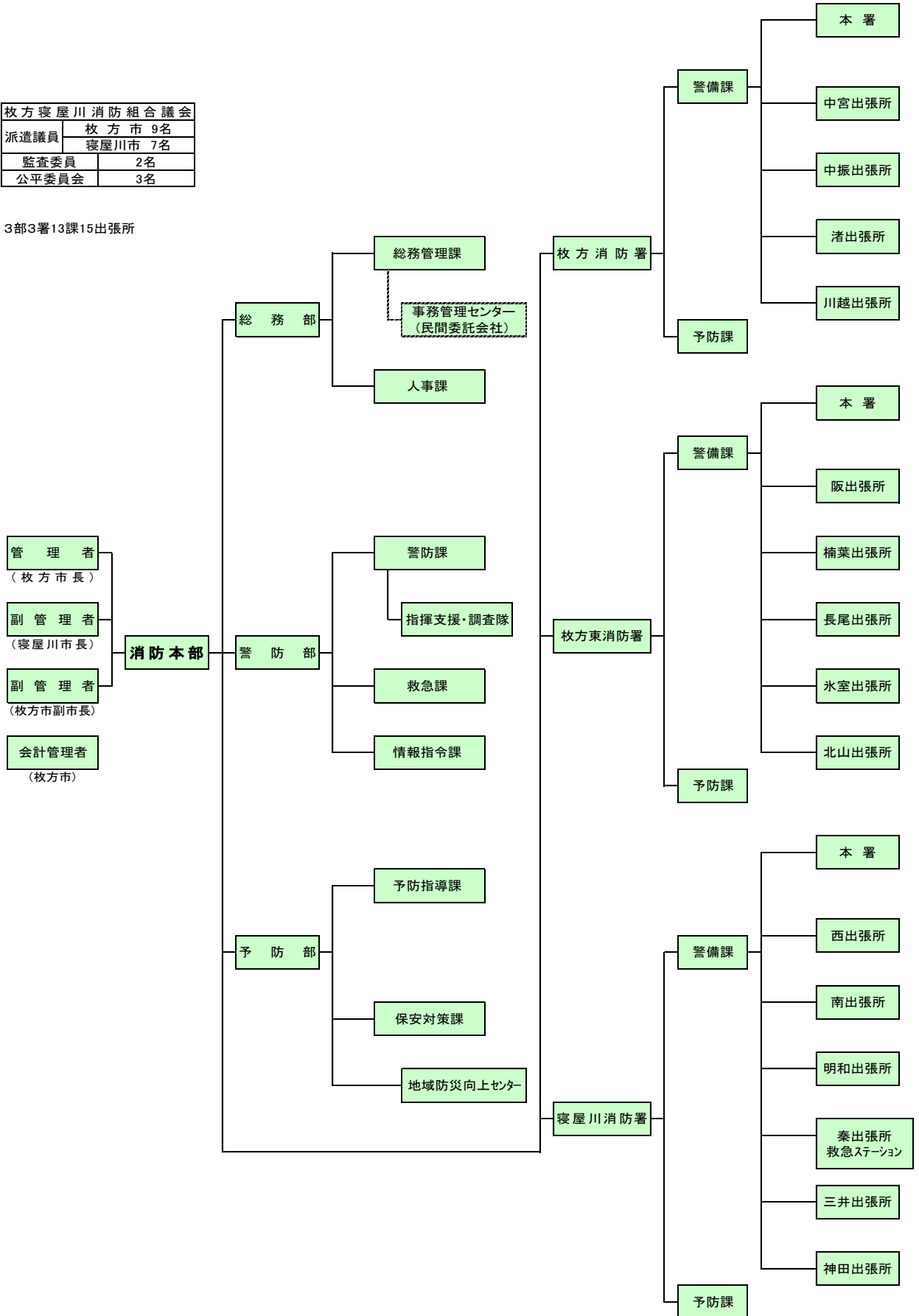


2 組 織

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

枚方寝屋川消防組合議会	
派遣議員	枚方市 9名 寝屋川市 7名
監査委員	2名
公平委員会	3名

3部3署13課15出張所



3 消防歳出予算

平成 29 年度当初予算 79 億 8,046 万 5 千円

第 4 次将来構想計画に掲げる「安全で安心して暮らせるまち」を目指し、行財政改革を基本とした広い視野と柔軟な対応で「選択と集中」を図り、職員一人ひとりが経営感覚とコスト意識を持ち、効率的かつ効果的な予算執行が可能となるよう、最適配分に配慮した歳出予算となっています。

(主な事業)

・ドクターカー事業

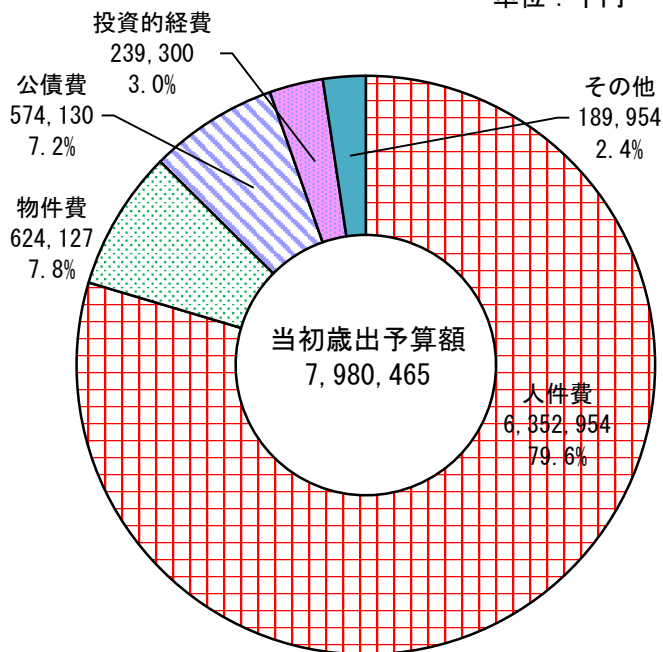
高齢者人口に比例し救急出動件数が年々増加する中、心肺停止などの重篤な患者を一刻も早く医師の管理下に置くことにより、救命率をはじめ、予後の改善、社会復帰率を向上させるため、枚方市、寝屋川市及び交野市を対象区域としてドクターカーを導入し、救急医療体制をより一層充実させることを目的とします。

・車両整備

救助工作車、ミニタンク車、救急車の更新

歳出予算性質別比率

単位：千円



過去 5 年間の消防組合歳出予算・決算額

年度	区分	歳出予算・決算額 (単位：千円)	左記の財源内訳 (単位：千円)			人口 1 人当たりの 消防費 (単位：円) (当初予算で算出) (毎年 4 月 1 日の人口)
			枚方市負担金	寝屋川市負担金	その他収入	
平成 25 年度	当初	7,401,172	4,229,889	2,823,364	347,919	11,368
	決算	7,397,572	4,197,172	2,807,764	392,636	
平成 26 年度	当初	9,767,488	4,196,891	2,826,511	2,744,086	15,060
	決算	9,236,972	4,037,197	2,713,822	2,485,953	
平成 27 年度	当初	8,065,736	4,338,466	2,913,885	813,385	12,479
	決算	8,061,422	4,219,407	2,831,117	1,010,898	
平成 28 年度	当初	7,695,481	4,376,522	2,805,808	513,151	11,958
	決算	—	—	—	—	
平成 29 年度	当初	7,980,465	4,628,658	2,988,455	363,352	12,423

4 消 防 庁 舎

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区分 署所別	所在地（電話）	敷地面積（㎡）	構造・階数	建築面積 （㎡）	延面積 （㎡）	建築年月日
消防本部 枚方寝屋川消防組 合・交野市消防指 令センター	〒573-1191 枚方市新町1丁目7番11号 TEL072-852-9903（以下市外局番同じ） FAX852-9948（4階）、852-9925（2階）	1343.1	耐火造・地上5階	735.2	3038.6	平28.1.22
伊加賀分室	〒573-0056 枚方市桜町3番40号	365.8	耐火造・地上2階	216.1	351.7	昭56.12.14
枚方消防署	〒573-0027 枚方市大垣内町2丁目10番22号 TEL072-852-9903、FAX852-9927	2099.5 別棟 ガレージ兼倉庫	耐火造・地上5階	587.0	2468.9	昭46.1.18
			耐火造・地上2階	235.6	365.9	昭58.4.15
中宮出張所	〒573-0005 枚方市池之宮3丁目4番28号 TEL852-9832、FAX852-9834	359.7	耐火造・地上2階	224.1	479.97	平29.3.15
中振出張所	〒573-0094 枚方市南中振1丁目16番30号 TEL852-9826、FAX852-9828	727.2	耐火造・地上4階・ 地下1階	420.1	1250.5	平2.6.26
渚出張所	〒573-1175 枚方市上野3丁目8番2号 TEL852-9829、FAX852-9831	700.0	耐火造・地上2階	418.7	791.3	平6.3.1
川越出張所	〒573-0083 枚方市茄子作北町7番22号 TEL852-9820、FAX852-9822	477.2	耐火造・地上2階	197.3	388.3	昭53.4.1
枚方東消防署	〒573-0121 枚方市津田北町2丁目23番3号 TEL852-9999、FAX852-9929	3255.6 主訓練塔 補助訓練塔 プールポンプ室	耐火造・地上4階	636.9	1991.9	昭61.4.1
			耐火造・地上8階	36.4	270.4	昭62.4.1
			準耐火造・地上5階	26.1	130.5	昭62.4.1
			耐火造・地上1階	16.1	16.1	昭62.4.1
阪出張所	〒573-1144 枚方市牧野本町1丁目10番34号 TEL852-9846、FAX852-9848	410.0	耐火造・地上2階	207.1	405.1	昭54.6.1
楠葉出張所	〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目29番1号 TEL852-9849、FAX852-9851	支所の一部使用 (501.8)	耐火造・地上2階	290.3	497.9	昭50.5.6
長尾出張所	〒573-0163 枚方市長尾元町2丁目13番6号 TEL852-9843、FAX852-9845	531.3	耐火造・地上2階	202.2	421.9	昭56.10.24
氷室出張所	〒573-0113 枚方市宗谷1丁目14番1号 TEL852-9840、FAX852-9842	474.0	耐火造・地上2階	253.5	457.2	昭58.1.28
北山出張所	〒573-0171 枚方市北山1丁目67番15号 TEL852-9824、FAX852-9825	1001.6	耐火造・地上2階	540.1	826.6	平13.4.1
寝屋川消防署	〒572-0039 寝屋川市池田2丁目11番73号 TEL852-9966、FAX852-9928	3260.9 車庫	耐火造・地上4階	835.9	2352.6	昭46.1.18
			耐火造・地上1階	34.02	34.02	平21.3.24
西出張所	〒572-0063 寝屋川市春日町20番22号 TEL852-9860、FAX852-9862	306.6	耐火造・地上2階	170.6	346.9	昭56.5.1
南出張所	〒572-0823 寝屋川市下木田町16番17号 TEL852-9866、FAX852-9868	421.2	耐火造・地上2階	235.1	426.6	昭54.7.2
明和出張所	〒572-0862 寝屋川市打上宮前町2番3号 TEL852-9869、FAX852-9871	519.0	耐火造・地上4階	295.5	789.1	平9.3.22
秦出張所 救急ステーション	〒572-0848 寝屋川市秦町2番5号 TEL852-9875、FAX852-9877	716.3	準耐火造・地上1階	239.2	237.5	平25.4.1
三井出張所	〒572-0019 寝屋川市三井南町25番2号 TEL852-9872、FAX852-9874	683.5	耐火造・地上2階	294.0	444.0	昭50.5.23
神田出張所	〒572-0045 寝屋川市東神田町22番6号 TEL852-9863、FAX852-9865	555.0	耐火造・地上2階	238.1	425.7	昭52.6.1

5 平成28年中の主な活動記録

月 日	内 容	備 考
1月10日	消防出初式	寝屋川市太間淀川河川公園
1月15～21日	防災とボランティア週間	
1月26日	文化財防火デー	
3月1～7日	春季火災予防運動	
3月7日	消防記念日	
3月30日	第1回消防組合議会定例会	本消防本部
4月11日	第150回大阪府下消防長会総会	グァイアール大阪
4月16～23日	熊本地震に伴う緊急消防援助隊派遣	阿蘇郡南阿蘇村
4月21日	第63回全国消防長会近畿支部総会	守口市
5月18日	全国消防長会監査	東京都
6月9、10日	第68回全国消防長会総会 第29回アジア消防長会協会総会	ハイアットリージェンシー大阪
6月6日	第2回消防組合議会定例会	本消防本部
6月5～11日	危険物安全週間	
6月14日	大阪府危険物安全大会	KKR ホテル大阪
6月29日	枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会総会	本消防本部
7月2日	第31回大阪の消防大賞	大阪国際交流センター
7月7日	消防組合議員全員協議会	本消防組合
7月22日	枚方寝屋川消防組合防火委員会総会	本消防本部
7月23日	消防救助技術近畿地区指導会	大阪市消防局高度専門教育訓練センター
8月23日	全国優良消防職員表彰式	松山市
8月24日	第45回全国消防救助技術大会	松山市
9月4日	第60回大阪府消防大会・消防操法訓練大会	大阪府立消防学校
9月12日	近畿都市整備局・大阪府・堺市合同総合防災訓練	堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点
10月20、21日	第65回全国消防長会危険物委員会	八戸市
10月22、23日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練	奈良県（五條市、橿原市）
10月27日	全国消防長会 役員会	新潟市
11月10日	全国消防長会 消防長研修会	グァイアール大阪
11月9～15日	秋季火災予防運動	
11月25日	第4回大阪府下警防技術指導会	大阪市消防局高度専門教育訓練センター
12月1～19日	歳末警戒	
12月20～31日	歳末特別警戒	
12月20日	第151回大阪府下消防長会臨時総会	大阪市消防局
12月22日	第3回消防組合議会定例会	本消防本部
12月28日	管理者訓示	本消防本部

6 消 防 職 員

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

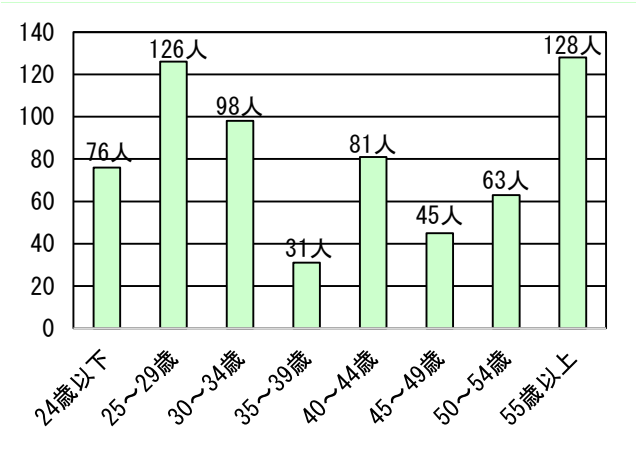
近年、消防を取り巻く環境は著しく変化し、市民の防災や安全に対するニーズもますます大きくなってきています。

我々、消防職員は、防災の担い手として一人ひとりが実務に精通し、幅広い知識と高度な技術、そして高い識見を持って、市民の負託に応えるために日夜、火災防ぎよ、救急、救助、予防、総務等の消防業務に取り組んでいます。

階級別職員数（市職員を含む）

総 数	消 防 吏 員								吏員以外 の職員		
	小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計	事 務 員
648	646	1	9	37	88	146	173	4	188	2	2

年齢別職員数



所属区分別職員数

所 属 区 分		人数		
総 数		648		
消 防 本 部	消防長		1	
	消防次長		1	
	総務部	部長	1	
		参事	1	
		総務管理課	10	
		人事課	7	
		派遣等	26	
	警防部	部長	1	
		参事	1	
		次長	3	
		警防課	日勤	5
			交替制	21
		救急課		3
		情指令報課	日勤	2
			交替制	27
	予防部	部長	1	
		次長	3	
		予防指導課	6	
		保安対策課	6	
		地域防災向上センター	0	
小計		126		
枚 方 消 防 署	本署	日勤	14	
		交替制	47	
	中宮出張所		15	
	中振出張所		24	
	渚出張所		27	
	川越出張所		24	
	小計		151	
枚 方 東 消 防 署	本署	日勤	14	
		交替制	48	
	阪出張所		23	
	楠葉出張所		27	
	長尾出張所		23	
	氷室出張所		15	
	北山出張所		24	
	小計		174	
寝 屋 川 消 防 署	本署	日勤	15	
		交替制	51	
	西出張所		24	
	南出張所		24	
	明和出張所		23	
	秦出張所救急ステーション		9	
	三井出張所		28	
	神田出張所		23	
小計		197		
勤務形態別	毎日勤務		121	
	交替制勤務		527	

※ 再任用職員を除く。

7 消 防 車 両

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

	総計	消防本部	伊加賀分室	枚方消防署	中宮出張所	中振出張所	渚出張所	川越出張所	枚方東消防署	阪出張所	楠葉出張所	長尾出張所	氷室出張所	北山出張所	寝屋川消防署	西出張所	南出張所	明和出張所	救急ステーション	秦出張所	三井出張所	神田出張所
総計	113	24	0	12	2	3	6	3	13	3	4	3	3	4	16	2	3	4	2	3	3	
CD-I型ポンプ車	17	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	
非常用ポンプ車	6	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
高規格救急車	17	-	-	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
非常用救急車	6	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
救助工作車Ⅲ型	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
Ⅲ型化学車	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
3.8m級梯子車	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
1.5m級梯子車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
遠距離大量送排水車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
水槽車	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
可搬ポンプ積載車	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
指揮車	4	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
指揮支援車	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査車	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
支援車Ⅰ型	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
支援車Ⅱ型	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	42	18	-	5	-	1	1	1	5	-	1	-	1	1	6	-	1	1	-	-	-	

※ その他には、査察車、広報車、事務連絡車、地震車等が含まれます。

平成 28 年度は、梯子付消防自動車 1 台、大量送排水車 1 台、高規格救急車 1 台の計 3 台の車両更新を行いました。



梯子付消防自動車



大量送排水車



高規格救急車

8 防火対象物

(1) 防火対象物

防火対象物とは、消防法第1条の目的を遂行するために、消防法に一定の基準を定め、特定防火対象物（不特定多数の者が出入する施設。例えば、百貨店・病院・ホテル等）と非特定防火対象物（特定の者しか出入しない施設。例えば、学校・事務所）に大別され、それぞれの規模等により消防設備等（消火器・自動火災報知設備等）の設置や防火管理者が必要な建物です。

管内防火対象物の事業所数

防火対象物区分			市・署別	組合合計	枚方市			寝屋川市
					市計	枚方署	枚方東署	寝屋川署
総数				11,237	6,457	3,630	2,827	4,780
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		2	1	1	-	1
	ロ	公会堂・集会場		245	157	76	81	88
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等		0	0	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール		40	17	11	6	23
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの		0	0	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等		4	3	2	1	1
3	イ	待合・料理店等		0	0	-	-	-
	ロ	飲食店		229	138	83	55	91
4		百貨店・マーケット等		504	310	148	162	194
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの		23	14	6	8	9
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		4,736	2,695	1,669	1,026	2,041
6	イ	病院・診療所・助産所		195	125	74	51	70
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等		195	120	61	59	75
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等		285	173	94	79	112
	ニ	幼稚園・特別支援学校		35	19	7	12	16
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等		135	89	49	40	46
8		図書館・博物館・美術館等		5	5	4	1	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等		0	0	-	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		23	5	3	2	18
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場		12	9	5	4	3
11		神社・寺院・教会等		139	82	44	38	57
12	イ	工場・作業場		878	469	148	321	409
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		1	1	1	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場		58	24	12	12	34
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫		1	1	1	-	-
14		倉庫		390	197	69	128	193
15		前各項に該当しない事業所		882	534	318	216	348
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物		1,323	790	453	337	533
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		887	471	290	181	416
16の2		地下街		0	0	-	-	-
16の3		準地下街		0	0	-	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等		8	8	1	7	-
18		延長50メートル以上のアーケード		2	0	-	-	2
19		市町村長の指定する山林		0	0	-	-	-
20		総務省令で定める舟車		0	0	-	-	-

(2) 消防同意

消防同意は、建築物の設計段階から防火面に関与し、必要に応じ現地調査を実施し、建築物の位置、構造及び設備のほか、防火に関する安全性の確保を図ることを目的としています。

平成 28 年中の消防同意件数

市 別 区 分		総 数	防 火 対 象 物			一 般 住 宅 等		
			小 計	枚方市	寝屋川市	小 計	枚方市	寝屋川市
総 数		1,791	307	220	87	1,484	802	682
工 事 別	新 築	1,695	213	151	62	1,482	801	681
	増 築	84	83	64	19	1	1	—
	用途変更	4	4	4	—	—	—	—
	そ の 他	8	7	1	6	1	—	1

※ その他には改築、修繕、移転、模様替等の件数が含まれます。

(3) 住宅防火診断

各家庭に対し火気使用設備の使用実態、消火器等の住宅用防災機器等の設置状況等を診断し居住者の防火意識の高揚を図り、住宅の防火を推進することを目的に住宅防火診断を実施しています。

住宅防火診断実施状況

年度 署別	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
枚 方 署	897	1,020	953
枚方東署	1,033	1,100	1,368
寝屋川署	910	1,097	1,130
総 数	2,840	3,217	3,451

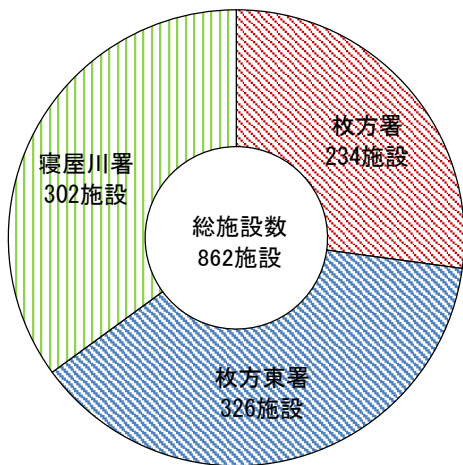
9 危 険 物

危険物規制事務は、主に危険物施設の許認可申請に係る事務とそれに伴う検査や各種届出事務及び危険物の取扱いに関する指導を行っています。

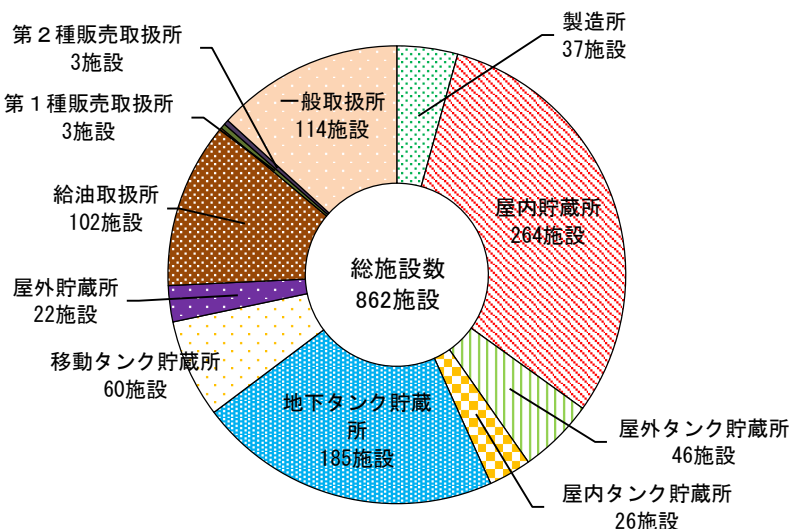
あらゆる生活分野に深く浸透している石油製品に代表されるように、危険物は現代社会生活に欠かすことのできない大きな貢献をしている反面、ひとたび取扱いを誤れば、火災や爆発等の甚大な災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

これらの危険物に起因する事故や災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保するため、厳正な法令等の執行とともに、事業所の地域社会との協力関係の強化等を含めた自主保安管理体制の確立と関係者の防災意識の向上に努めることが重要です。

管轄署所施設別



区分別施設数



許認可事務処理状況

区分	総数	製造所等															仮貯蔵・仮取扱
		許可		完成検査		仮使用承認申請	完成検査前検査	再完成検査済証等交付申請	廃止届	譲渡引渡届	数量の倍数変更届	品名数量又は指定数量の変更届	軽微な変更届	選任・解任届	危険物保安監督	予防規程認可申請	
設置許可	変更許可	設置許可	変更許可														
総数	1,546	13	169	15	175	148	35	8	15	6	40	245	136	12	41	484	4
枚方署	706	4	76	6	75	71	-	1	2	2	19	129	35	3	17	266	-
枚方東署	335	4	37	3	39	28	3	-	5	2	9	48	31	4	10	109	3
寝屋川署	505	5	56	6	61	49	32	7	8	2	12	68	70	5	14	109	1

※ その他には、危険物仮貯蔵・仮取扱承認申請、危険物製造所等の氏名、名称、住所変更届、危険物製造所等における火気使用工事届等の事務処理状況が含まれます。

10 査

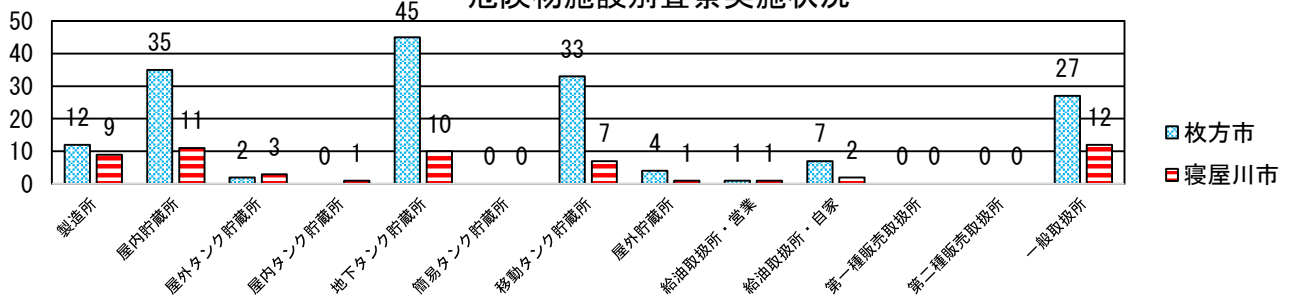
察

査察とは、火災を未然に防止し、火災による被害の軽減を図るため、当該防火対象物及び危険物施設への立入検査を行い、火災予防上の不備事項を指摘し、関係者に対して必要な指示、指導を積極的に行うものです。

用途別査察実施状況

防火対象物区分		市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数			2,324	1,367	957
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	2	1	1
	ロ	公会堂・集会場	58	39	19
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	4	1	3
	ハ	風営法に規定する店舗その他これらに類するもの	0	-	-
	ニ	カラオケボックス等	2	2	-
3	イ	待合・料理店等	0	-	-
	ロ	飲食店	37	24	13
4		百貨店・マーケット等	115	67	48
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	5	4	1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	893	513	380
6	イ	病院・診療所・助産所	55	45	10
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	60	54	6
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	62	34	28
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	8	3	5
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	33	19	14
8		図書館・博物館・美術館等	0	-	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4	2	2
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	2	2	-
11		神社・寺院・教会等	21	8	13
12	イ	工場・作業場	180	96	84
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	16	6	10
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	-	-
14		倉庫	92	41	51
15		前各項に該当しない事業所	159	92	67
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	340	225	115
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	150	76	74
16の2		地下街	0	-	-
16の3		準地下街	0	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	2	2	-
18		延長50メートル以上のアーケード	0	-	-
19		市町村町長の指定する山林	0	-	-
20		総務省令で定める舟車	0	-	-
*		その他	24	11	13

危険物施設別査察実施状況



11 1 1 9 番 等 通 報

(1) 119番通報受信状況

総受信件数は59,147件（1日平均約162件）で、これは市民約11人に1人が119番等の通報をしたこととなります。

受信件数の内訳は火災通報238件（0.4%）、救急通報33,473件（56.6%）となっており両通報で全体の約57%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は5,073件（8.6%）で、医療情報の提供が市民生活の中に浸透してきた結果だと思われる反面、緊急性のないものや、いたずら・間違いなどの通報が6,387件（10.8%）もあり、実際の火災・救急通報の受信に支障をきたすことも予想されることから、今後も防火指導、救急講習等の広報活動を通じ「正しい119番の使用法」を啓発していく必要があります。

回線別の受信件数は固定電話の119番受信が11,749件でIP電話の13,788件を含めると25,537件（43.2%）で約半数を占め、加入電話が465件、警察電話が2,398件、その他が2,957件となっています。

携帯電話の受信件数は22,370件（37.8%）で、他市消防本部からの携帯電話の転送を含めると23,225件（39.3%）となります。

緊急通報システムからの通報は4,565件（7.7%）あり、聴覚障害者及び音声言語機能障害者の方々からの緊急FAXが1件、eメール119（登録者数133人）による通報はありませんでした。

通信受信状況

種別 内訳	総数	119 受信	加入電話	警察電話	緊急通報	携帯受信	転送受信	その他	IP 電話
総 数	59,147	11,749	465	2,398	4,565	22,370	855	2,957	13,788
火 災	238	20	12	22	1	130	1	7	45
救 急	33,473	6,193	245	1,488	907	13,637	662	229	10,112
救 助	140	15	10	39	1	56	1	2	16
火災問合せ	51	2	2	29	-	14	-	-	4
救急問合せ	559	44	3	130	-	261	7	24	90
そ の 他	832	87	114	155	3	314	13	54	92
間 違 い	3,575	644	23	39	1,210	1,263	47	57	292
試 験	2,828	232	-	-	2,357	12	1	132	94
悪 戯	2,812	1,570	-	-	-	1,146	7	30	59
医療問合せ	5,073	457	1	17	-	2,725	13	126	1,734
転 送	453	1	-	-	-	440	-	10	2
上記以外	9,113	2,484	55	479	86	2,372	103	2,286	1,248

※ 上記以外には、訓練通報や各種通報装置からの通報試験等の状況が含まれます。

(2) 緊急通報システム

緊急通報システムとは、急病や災害等の緊急時に迅速な行動がとれない高齢者や身体障害者の安全で安心な生活を確保するため利用者宅に装置（ボタン一つで操作可能な電話機とペンダント）を設置し、緊急事態発生時には電話回線を通じて速やかに消防本部に通報され、通報者の情報（住所、氏名、生年月日、既往歴、掛り付けの医療機関等）が瞬時に指令台に表示されるシステムです。

緊急通報システムの設置件数及び通報状況

種別 市別	緊急通報システム 設置件数	通報総数	出動件数
総 数	4,125	2,113	903
枚 方 市	3,164	1,579	690
寝屋川市	961	534	213

(1) 消防隊の活動状況

平成 28 年中の消防隊等が活動した事故件数は、2,523 件で出動車両台数は 3,818 台でした。

これは、1 日当りの平均災害発生件数が約 6.9 件で、1 件の災害に対し、平均 1.5 台の消防車両が出動したことになります。

火災件数 168 件のうち、建物火災が 87 件と最も多く、火災出動件数の約 51.8%を占めています。

消防隊は、火災やその他の消防事故の災害現場にいち早く到着し、日頃の訓練で習得した技術や知識を十二分に発揮し、的確な消防活動を行うことにより、人命危険の排除及び被害の軽減を図っています。

消防隊の火災出動件数

火 災 件 数	火 災 出 動 件 数										
	放水別		事 後 聞 知	出 動 別				種 別			
	放 水	未 放 水		第 1 出 動	第 2 出 動	第 3 出 動	特 命 出 動	建 物	車 両	林 野	そ の 他
168	66	102	16	136	28	0	4	87	28	0	53

火災別活動状況

区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
建 物 火 災	87	670	2,343	852:23
林 野 火 災	-	-	-	0:00
車 両 火 災	28	115	394	107:29
その他の火災	53	174	578	244:53
小 計	168	959	3,315	1204:45
焼 損 事 故	48	178	588	111:29
その他消防事故	2,307	2,681	11,189	1264:30
総 数	2,523	3,818	15,092	2580:44

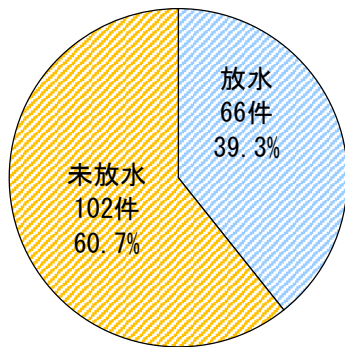
消防署別活動状況

区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
枚 方 署	55	282	966	265:56
枚 方 東 署	51	277	971	439:50
寝 屋 川 署	62	400	1378	498:59
総 計	168	959	3,315	1204:45

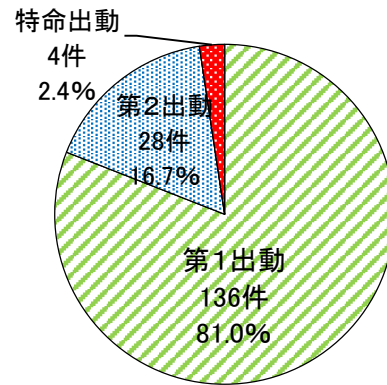
・活動時間については、出動から現場引き揚げ迄の時間です。

・活動隊については、救急隊を除く数字です。

放水件数比



出動別



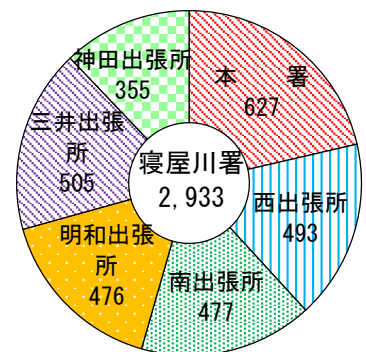
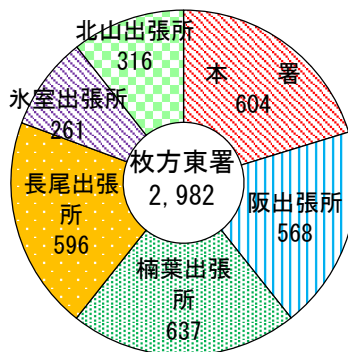
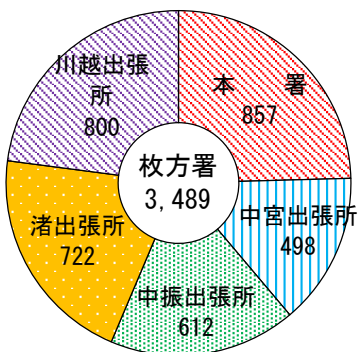
(2) 消防水利

本消防組合管内の消防水利の大部分は、人工水利の消火栓 (98%) が占めています。

消火栓は簡易に使用でき、連続的に給水しますが、水道配管路に設置されているため、配管口径による給水量の制約、断・減水時の使用不能等の弱点があります。これをカバーするために、開発行為の機会をとらえ、防火水槽の設置を要請するなど、消防水利の確保に努めています。

区分 署別	総数	消火栓			防火水槽 (㎡)			その他の水利		
		小計	公設	私設	小計	公設	私設	プール	河川池	その他
総数	10,330	9,404	8,968	436	589	112	477	128	149	60
枚方署	3,808	3,489	3,334	155	223	24	199	47	14	35
枚方東署	3,326	2,982	2,898	84	200	47	153	35	108	1
寝屋川署	3,196	2,933	2,736	197	166	41	125	46	27	24

署所別の消火栓



13 火 災 概 況

(1) 火災概況

平成 28 年中における火災件数は、168 件（枚方市 106 件（枚方署 55 件・枚方東署 51 件）・寝屋川市 62 件）で、前年と比べ 6 件減少しています。

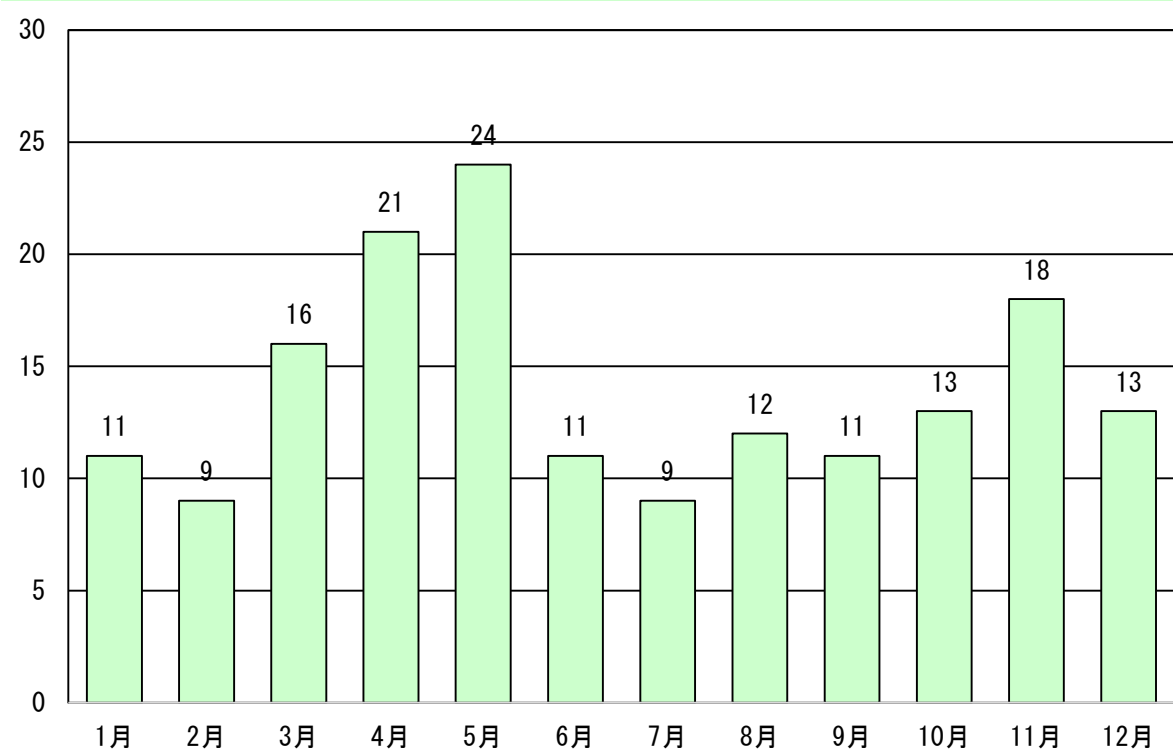
市別で見ますと、枚方市は前年より 10 件（10.4%）増加し、寝屋川は 16 件（20.5%）減少しています。

区分 署別	火災種別（事後聞知含む）							焼損棟数					爆発棟数	り災世帯数			
	火災件数	うち爆発	建物	林野	車両	その他		合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや		合計	全損	半損	小損
						枯草等	その他										
総 数	168	0	87	0	28	26	27	112	7	4	24	77	0	88	13	5	70
枚 方 署	55	-	27	-	12	9	7	31	-	1	2	28	-	28	2	1	25
枚 方 東 署	51	-	25	-	6	8	12	31	2	1	7	21	-	15	2	2	11
寝 屋 川 署	62	-	35	-	10	9	8	50	5	2	15	28	-	45	9	2	34

(2) 月別火災件数

出火件数を月別で見ますと、最多出火月は5月の 24 件（14.3%）、次いで4月の 21 件（12.5%）、11 月の 18 件（10.7%）、3月の 16 件（9.5%）と続いており、最少出火月は2月・7月の 9 件（5.4%）となっています。

(件) 月 別 件 数



(3) 死傷者・損害状況

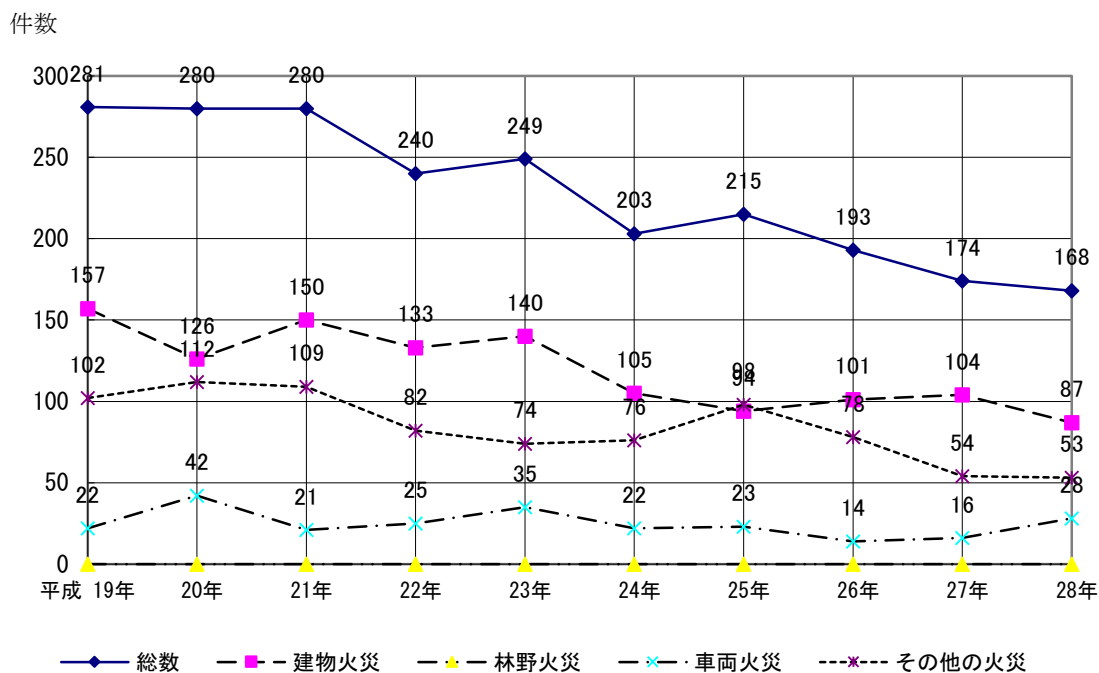
火災による死者数は、4人（枚方市4人、寝屋川市0人）で前年より3人減少となっています。

火災による負傷者数は、17人（枚方市12人、寝屋川市5人）で前年より20人減少しており、枚方市で3人増加、寝屋川市では23人減少しています。

区分 署別	罹 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)	焼損面積		1ヶ月当たり					
					建 物 床 (m ²)	林 野 (a)	火 災 件 数 (件)	(建 物 火 災 件 数)	焼 損 棟 数 (棟)	死 者 数 (人)	(建 物 焼 損 床 面 積)	損 害 額 (千円)
総 数	190	4	17	103,293	1,212	0.0	14.0	7.3	9.3	0.3	101.0	8,608
枚 方 署	67	1	11	29,752	89	-	4.6	2.3	2.6	0.1	7.4	2,479
枚 方 東 署	27	3	1	32,447	489	-	4.3	2.1	2.6	0.3	40.8	2,704
寝 屋 川 署	96	-	5	41,094	634	-	5.2	2.9	4.2	-	52.8	3,425

(4) 過去10年間の火災発生状況

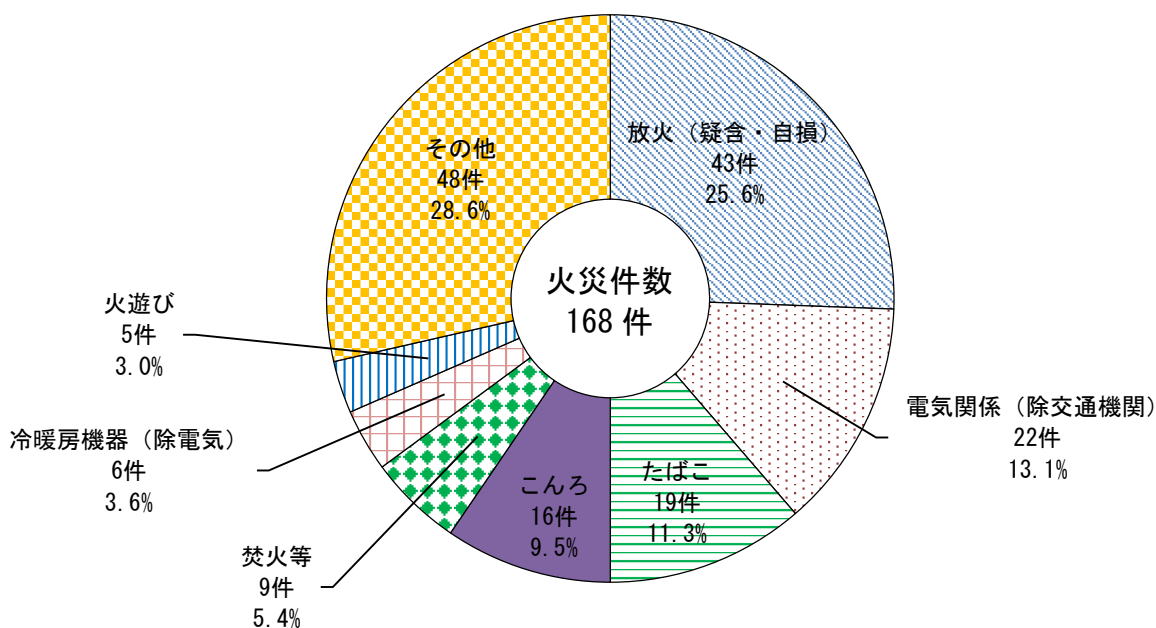
過去10年間の本消防組合管内における火災件数をみますと、平成19年の281件をピークに減少傾向を辿り、昨年は170件を切り火災が減少していることを示しています。



(5) 出火原因

主な出火原因としては、放火及び放火の疑いによるものが43件(25.6%)、電気関係(交通機関を除く)22件(13.1%)、たばこ19件(11.3%)、こんろ16件(9.5%)、焚火等9件(3.4%)の順となっています。

出火原因別件数



過去10年間の主な火災原因別表

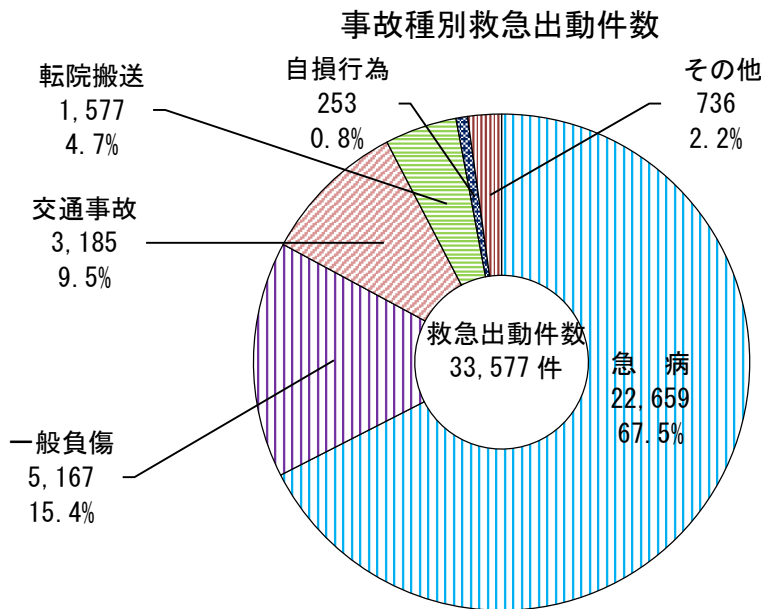
原因	年(平成)	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
総数		281	280	280	240	249	203	215	193	174	168
放火・疑含		84	136	119	93	90	79	89	75	55	43
たばこ		36	26	29	26	23	22	27	17	26	19
こんろ		44	24	32	24	27	22	23	20	22	16
食用油過熱引火		22	11	14	11	13	11	9	3	11	5
火遊び		17	11	12	8	14	9	11	12	3	5
焚火等		16	10	11	9	12	6	9	7	4	9
風呂かまど		3	-	3	1	-	-	2	1	-	-
風呂の空焚き		-	-	2	1	-	-	-	-	-	-
電気関係(除交通機関)		16	15	18	19	18	11	15	18	16	22
冷暖房機器(除電気)		6	7	8	3	7	4	7	5	6	6
その他		59	51	48	57	58	50	32	38	42	48

※ その他には、静電気、衝突の火花、排気ダクト等が含まれます。

14 救 急

(1) 救急概況

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、第1位が急病、第2位が一般負傷、第3位が交通事故、以下、転院依頼、自損行為の順となっています。



(2) 救急搬送状況

平成28年中の救急活動状況をみると、出動件数33,577件・搬送人員30,180人で、前年に比べ出動件数が714件(2.17%)、搬送人員が687人(2.3%)増加しました。消防組合全体では、1日平均約92.0件で、1時間に3.8件の割合で出動したことになり、救急隊1隊あたりの1日の出動は平均して5.4件でした。

事故種別救急出動件数及び搬送人員

事故種別 区分		総数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他
	搬送人員	30,180	19	0	1	3,083	134	156	4,670	158	177	20,188	1,558	0	0	36
枚方署	出動件数	10,622	31	-	3	977	44	43	1,649	62	69	7,100	602	-	-	42
	搬送人員	9,542	8	-	-	955	44	45	1,468	45	51	6,320	594	-	-	12
枚方東署	出動件数	9,973	33	-	4	955	53	60	1,514	45	84	6,682	502	-	-	41
	搬送人員	8,953	6	-	1	934	49	59	1,368	35	55	5,936	497	-	-	13
寝屋川署	出動件数	12,982	39	-	5	1,253	43	51	2,004	101	100	8,877	473	-	-	36
	搬送人員	11,685	5	-	-	1,194	41	52	1,834	78	71	7,932	467	-	-	11

組 合

区分	月平均	日平均	時間平均
出動件数	2798.1件	92.0件	3.8件
搬送人員	2515.0人	82.7人	3.4人

1隊あたり

区分	月平均	日平均	時間平均
出動件数	164.6件	5.4件	0.2件
搬送人員	147.9人	4.9人	0.2人

(3) 救命率の向上

平成 28 年中の搬送人員 30,180 人のうち、応急処置の対象となった傷病者は、29,997 人で全体の 99.4%でした。

応急処置の実施状況を事故種別ごとにみると、交通事故、急病、一般負傷については、「その他応急処置」が多くなっています。

平成 28 年中の枚方寝屋川消防組合応急手当の普及啓発活動に関する要綱に基づく救命講習の実施回数は 239 回で受講者数が 9,666 人、応急手当普及員による講習の受講者数は 5,152 人でした。

普及啓発用資器材の状況は、蘇生訓練用人形の成人用、小児用、乳児用及び AED トレーナーを常備しており、応急手当の普及に寄与しています。その他、各署に高度救急処置シミュレーター等を整備し、指導技術の向上を図っています。

救命講習会実施回数及び受講者数

署別	区分	実施回数	対象人員
総	数	239 回	9,666 人
枚方署	(本部含)	154 回	7,539 人
枚方東署		32 回	788 人
寝屋川署		53 回	1,339 人

講習会別実施回数及び受講者数

講習会名	平成 28 年中		組合 総累計
	回数	受講者数	
PUSH~ いのちの授業	60 回	5,480 人	13,348 人
普通救命講習会	50 回	1,158 人	40,567 人
救命入門コース	77 回	1,974 人	10,830 人
普及員講習会	5 回	110 人	1,281 人
普及員再講習会	5 回	134 人	954 人
上級救命講習会	1 回	22 人	1,407 人

一般市民が救急車到着までに実施した主な応急処置数

処置別 市別	人工呼吸	胸骨圧迫	除細動	心肺蘇生	止血
総計	6	138	10	13	47
枚方市	6	89	5	10	23
寝屋川市	-	49	5	3	24

(4) 「救急安心センターおおさか」

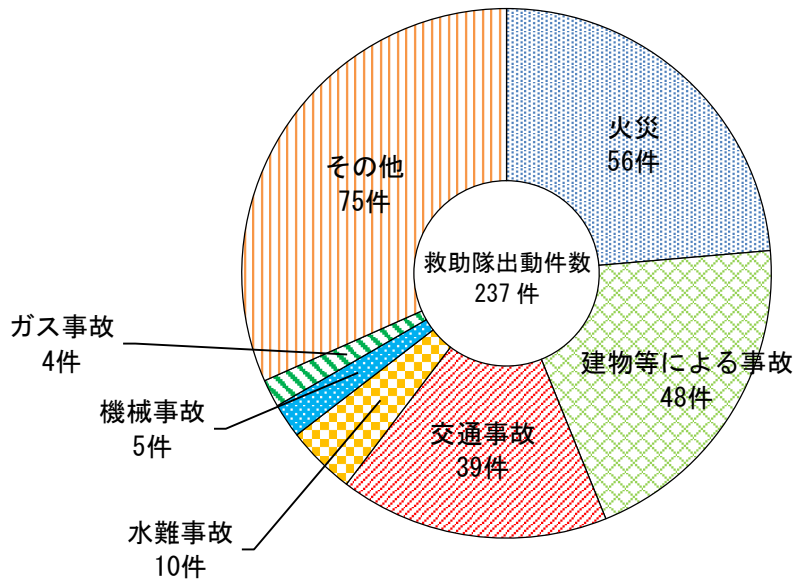
本消防組合では、大阪市の事業として平成 21 年 10 月から運用されている「救急安心センターおおさか」に平成 22 年 4 月から府下 13 消防本部とともに参画し、平成 23 年 4 月からは府下全消防本部が参画しています。

	枚方市	寝屋川市
救急車の必要があったもの	162	96
医療相談	3,877	2,294
応急手当指導	-	-
医療機関問合せ	4,380	3,138
苦情	-	-
誤接	1	-
いたずら	-	-
その他	274	178
合計	8,532	5,610

※ その他には、各種相談や問い合わせ等が含まれます。

救助隊の出動件数は237件（枚方市146件、寝屋川市89件、管外2件）で、事故別にみますと、その他事故が75件（31.6%）と最も多く、2番目に火災が56件で全体の23.6%、次いで建物等による事故の出動が48件（20.3%）、交通事故が39件（16.5%）となっています。なお、その他事故には消防事故に出動したが誤報、虚報であった場合も含まれます。

事故別出動件数



救助人員内訳

総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
73人	12	5	13	29	14

事故種別活動状況

区分 市別	総数	火災	救助事故							
			交通	水難	自然	機械	建物	ガス	破裂	その他
総数	237	56	39	10	-	5	48	4	-	75
枚方市	146	33	22	5	-	3	33	4	-	46
寝屋川市	89	23	15	5	-	2	15	-	-	29
管外	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-

16 消防団の概況

区分 市別・分団別		消防団員							消防機械				
		総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	総 数	ポ ン プ 車	小型 動力 ポンプ 積載 車	小型 動力 ポンプ
総 数		876	2	10	17	17	31	82	717	83	2	74	7
枚 方 市	小 計	478	1	6	11	11	31	49	369	51	1	43	7
	本部事務局	7	1	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	枚方分団	25	-	-	1	1	3	4	16	2	1	1	-
	蹠跏分団	32	-	-	1	1	3	4	23	4	-	4	-
	川越分団	40	-	-	1	1	3	4	31	4	-	4	-
	山田分団	51	-	-	1	1	3	7	39	7	-	7	-
	殿一分団	38	-	-	1	1	3	8	25	5	-	5	-
	殿二分団	54	-	-	1	1	3	6	43	4	-	4	-
	樟葉分団	42	-	-	1	1	3	4	33	4	-	4	-
	津田分団	60	-	-	1	1	3	4	51	6	-	4	2
	菅原分団	58	-	-	1	1	3	3	50	7	-	5	2
	氷室分団	52	-	-	1	1	3	3	44	6	-	3	3
	女性分団	19	-	-	1	1	1	2	14	1	-	1	-
寝 屋 川 市	小 計	398	1	4	6	6	-	33	348	32	1	31	-
	団本部	17	1	4	-	-	-	1	11	0	-	-	-
	第1南分団	61	-	-	1	1	-	6	53	6	-	6	-
	第1北分団	56	-	-	1	1	-	6	48	6	-	6	-
	第2分団	90	-	-	1	1	-	7	81	7	-	7	-
	第3分団	61	-	-	1	1	-	5	54	5	-	5	-
	第4分団	60	-	-	1	1	-	4	54	4	-	4	-
	第5分団	53	-	-	1	1	-	4	47	4	1	3	-

あなたに安心を届けたい!

枚方寝屋川消防組合ホームページ

<http://www.hnfd119.jp/>



イメージキャラクター「消太^{しょうた}・消子^{しょうこ}」

キャラクターイメージは、将来の防災の担い手である少年少女が力を合わせて放水している姿を市民に優しく親しみやすい図柄で表現しました。名前は火を消す少年を「消太くん」、少女を「消子ちゃん」と呼び、キャラクター名は「消太・消子」としています。

ひらね119

(平成29年 刊行)

発行 枚方寝屋川消防組合消防本部

編集 総務部総務管理課

枚方市新町1丁目7番11号

072(852)9903
